

ホームページ



つながり

学校教育目標：生き生きと学び、主体的に活動する田野々の子

学校 TEL 27-0030 <文責：金子>

2025年12月15日 No.11

マラソン大会が終わりました

素晴らしい冬晴れのもと、令和7年度の校内マラソン大会が無事終了しました。試走から保護者の竹内おうたさんのお父さんや芝みおさん、りとさんのお父さん、よみよみルーム(放課後学習)の芝ゆみさん、小野川えりさん、補導センターの方々、駐在の警察官、地域の方々の見守りのご協力をいただきました。二回目の試走が悪天候によりできない時がありましたが、その際も保護者が見守ってくださっていました。連絡が行き届かず、すみませんでした。本番でも、前述の方々をはじめ、多くの保護者、地域の方々、学校運営協議会の会長の佐々木 隆司さんが見守り、応援をしてくださいました。このようにたくさんの方々に見守られながら子どもたちは一生懸命に自分の走りを見せてくれました。途中、こけて膝を擦りむいた子、足をくじいた子、お腹が痛くなった子、ぜんそくが出そうになった子もいましたが、ゴールを目指し、全員完走しました。子どもたちのふりかえりの中には、「みんなに見られて緊張したけど、最後まで目標タイムより早く走りたかった」など、前向きな言葉がたくさん見られました。

ここで、佐藤よきさんと小野川いちかさんのふりかえりの文を紹介します。

さいしょ、コースの試走がつらかった。けど、2回目くらいからちょっとずつ走るのが好きになった。友だちと走っていて走るのが楽しかった。(途中 略)

来年もまた自己ベストをこうしんしたいと思いました。来年もたのしみです。 :佐藤よきさん

ほまれさんが足をくじいてしまったけど、さいごまであきらめず走ってすごいと思ったし、自分もあきらめずにさいごまで走れてよかったです。(途中 略)

来年は、今の2年生がいるのでお手本になってあげたいし、来年も自己ベストを目指したいです
:小野川いちかさん

マラソンを通して、自分自身のやり抜く力や体力の向上だけでなく、友だちの頑張りに触れたり、友だちの良さに気づいたりすることもたくさんできました。来年が楽しみです。

次ページへ

2学期のふりかえり

3年生 食育指導



11月27日は、前田先生と栄養教諭の西井先生が「めざせ!野さいはかせ～野さいもりもり大作せんを考えよう～」と題して3年生に食育授業を行いました。子どもたちは、クイズを通して野菜への関心を高め、緑黄色野菜と淡色野菜の違いや野菜が持つ働きについて学習をしました。緑葉色野菜と淡色野菜について、実際に野菜を切った断面の色で判断して、どちらになるかを楽しく理解していました。中でも驚いたのは、断面を見る前の仕分けの作業で、ねぎの緑の部分は緑黄色野菜になり、白い部分は淡色野菜になるので、ねぎは両方の野菜になると分けていたチームがあり、驚きました!正解です! 断面の色をきちんと想像し、分けていたことにびっくり! また、一日の目安となる野菜の量や今日の給食に使用した野菜を見たりしながら、自分の食生活を振り返っていました。一日の目安となる野菜の量に「えーこれだけ?余裕で食べよる」という子どももいれば、「食べてないかも?」とつぶやく子どももいて、いろんな感想を持ちながら学習ができていました。学習後は、苦手な野菜をどう工夫して食べるか自分の考えとして出していきました。

この冬休みには、お家でも野菜についての話をしながら、一緒に料理をつくったり、苦手な野菜に挑戦したりする姿を見てあげてほしいと思います。



次ページへ

5. 6年生 総合的な学習 SDGsについて

12月1日は、坂山 英二先生（元影野小学校 校長：ベルギー日本人学校、テキサス日本人学校校長を歴任）にお越しいただき、SDGsは誰のための取組なのか、世界の情勢を話しながら SDGsの意味や価値の話ををしていただきました。世界には、さまざまな環境の中で暮らしている人々がいます。その中で、「自分たち日本人の環境はどうでしょうか・・・以下のどのグループにはいりますか？」

1. 食べ物や住む家があります。学校に行け、生活に特に困っていません。世界の約15% 約12億人
2. 食べ物や家があります。生活は少し大変ですが、何とか暮らせます。世界の約35% 約28億人
3. 食べ物が足りません。学校に行けない子がいます。世界の約25% 約20億人
4. 1日1回しか食べられないこともあります。病気になっても病院に行けません。世界の約15% 約12億人
5. 食べ物も家もなく、助けを必要としている人たちです。世界の約10% 約8億人

の質問に、子どもたちは声をそろえて、1番。では、この状態はみんなが幸せと言えるのか、、、の問いに子どもたちは、一斉にNOと返していました。

世界で起きている様々なことを他人事として捉えるのではなく、同じ地球に暮らす「地球人」として、自分のこととして考え、行動していくことが大切だと具体物や写真を通して話をしてくれました。特に印象深かったのは、

誰かに優しくすると、その人の心があたたかくなる
優しさは“まわりの人にも広がる”
いつか自分や家族も年をとるから
優しくし合う町は“みんなが幸せに生きられる町”になる
SDGsは、「だれかのため」だと続かない
「だれかのため」ではなく「私たちのため」

2030年までに世界が達成すべき17の国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）に、まずは自分たちが取り組めることから取り組んでいくことを決めました。5、6年生の中には、食事を残さず食べる、水の無駄遣いをしない、必要でない電気は切る、SDGsの取組をすでに実践できている人もいて、坂山先生の話を通して、その意味と価値を感じていました。

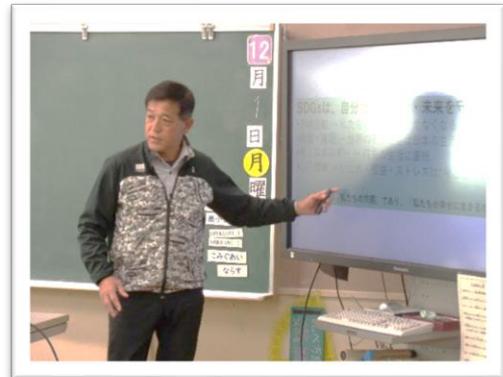


身近な取組を積み重ねていくことが、みんなの幸せにつながる。そして、それは未来の自分の幸せにつながっていくことを理解できた貴重な時間となりました。

早速、芝みおさん、宮脇ゆいとさんが登校中、道路わきに落ちていたごみを拾ってきてくださいました。

みんなで、取組を進めていきたいです。

次ページへ



お知らせ

エレベーター設定工事のお知らせ

11月19日にお知らせしておりましたエレベーター設置工事についてですが、13、14日の土日に下記のような内装工事が行われ、壁やドアが設定されています。（音がする工事は、休日に行なうなど、配慮をしてくれています。）子どもたちには、廊下が狭くなつたので、通行に気をつけることや壁やドアには触れないことをお話ししています。保護者の皆様もご周知ください。



1階 ランチルーム、体育館に向かう
手洗い場の向かいに壁を設置

2階 理科室に向かう
3年教室向かいに壁を設置

お知らせ

児童タブレット内に Gemini（ジェミニ）アプリが入りました
Google が提供する生成 AI（人工知能）です

学校における「1人1台端末」（タブレット）の整備は、文部科学省が推進する GIGA スクール構想に基づき、すべての子どもたちの可能性を引き出すための未来に向けた学びの環境づくりです。これは、単に「電子的な道具が増える」というのではなく、子どもたち一人ひとりが自分のペースで、より深く、主体的に学べるようにするためのものでもあります。しかし、使い方を間違うと大変危険なものもあります。情報をいかに読み取るか、読みの力をしっかりとつけていくことや情報モラルを理解させていくこと、道徳教育や人権教育を推進していくことに学校も力を入れて取り組んでいるところです。

本日の朝会でも情報教育担当の大倉先生の方から、Gemini（ジェミニ）の使用についての話の中で、加害者にも被害者にもならないために、日頃から人に対する言動にも気をつけていくことへの話がありました。これから、モラルの徹底を図りながら、授業を中心に使用をしていきます。以上、Gemini（ジェミニ）アプリ内蔵の件についてご周知ください。